

R・I・N・R・I

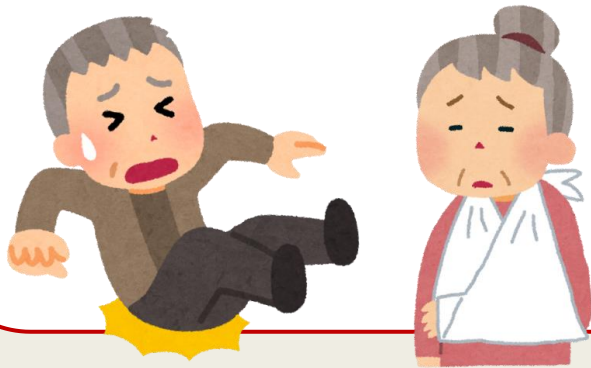
～西7病棟倫理の歩み～

西7病棟

令和5年度（12月まで）

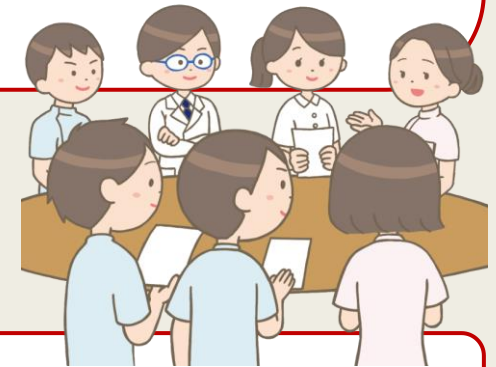
曜日毎のカンファレンステーマ

入院患者 **564** 名
手術件数 **686** 件



- (月) 事故防止・インシデント
- (火) せん妄・認知症患者
- (水) 退院調整
- (木) **看護倫理**
- (金) 1週間内のトピックス

結果



毎月平均2件の倫理カンファレンスの実施

事例紹介

患者Y氏 70歳代女性

家族構成：夫と二人暮らし 娘2人（長女は県外在住）

既往歴：2013年 糖尿病・慢性腎不全のため透析導入

2022年4月 左下肢壊疽のため切断

2023年2月 右下肢壊疽のため切断

10月 左手背蜂窩織炎、四肢に紅斑

性格：明るく楽観的であり、家族のことが好き

経過：11月頃より徐々に透析中の血圧低下があり、十分に透析・徐水がでない状態となる。家族へ内科・整形外科より今後透析が行えず自然の看取りになる可能性がある」とIC。皮膚の掻痒感が強く、軟骨塗布・眠前にノイロトロピン施注で対応。

A氏 70代女性 (DM,CKD,HD,両下腿切断後,左手背蜂窩織炎)

2013年からHD導入。シャント増設も難しく人工血管増設あり。2022/4 左下肢切断以後右下肢も壊疽あり自宅とHD時に処置施行。2023/2 右下肢切断施行され自宅退院されフォローされていたが、四肢に痂皮を示す紅斑出現あり皮膚科でフォロー中。蜂窩織炎ありHD時に抗生剤施行されていたが、本人希望もあり整形コンサルトなり、10/25入院となり皮膚切開施行され、ペンローズ留置。HD開始すると血圧低下ありドブス内服されHD開始。徐々に血圧80台~100台で経過。11/27 ドブス内服も血圧低値で除水100mlのみで帰室。11/28 内科石津Dr・佐藤DrよりIC施行され今後HD行えずに自然の看取りになる可能性説明され、家人理解されているが涙ぐまれたりされる。本人様も「だんなちゃんにあうのが、痒いのも気分的にも違う。」と言われたり電話で話されている。

皮膚の掻痒感強く軟膏塗布・眠前ノイロトロピン施注にて対応しているが、本人搔爬し出血している箇所もあり。

左手創部MRSA感染でバンコマイシン投与中。左シャントあり人工血管で血管もない。今後の対応含め本人の精神面と意思を考えていく機会にと思う。

【医学的適応】

- ・臀部と左手が痛い。左手は開放傷ありま毎日処置施行。→疼痛時にはロキソプロフェン内服で対応。
- ・両下肢アンプタ後、右下肢は処置継続中
- ・全身潰瘍性の皮疹あり、皮膚科より軟膏処方あり塗布。内服も追加あり
- ・透析ができなくなっている。ドライウエイトまで戻せない。(血圧低下にて)
- ・左手MRSA感染でバンコマイシン投与中。→人工血管も危ない。
- ・DMあり、血糖コントロール中

【患者の意向】

- ・「私もう死ぬんかな。」
- ・「人生楽しかった。よう身体もった方やは。」
- 家族旅行の思い出を楽しそうに話してくれる。
- ・「最後は病院やろな。」
- 11/28 夫・次女にIC施行
- 本人には話していないが、娘から少し聞いたと受容しているのか、自宅に帰りたい等発言なし
- ・「お風呂好きやから、このまま死ぬたらいいのに」とシャワー浴時に言われるのが本音

【QOL】

- ・ADL全介助、何とか車椅子には乗れる状態
- 低下傾向で体位変換も難しくなっている
- ・家族が好きで、家族の話をする時は嬉しそう
- ・週2回のシャワー (ストレッチャー浴)
- 楽しみにされている

【周囲の状況】

- 次女「透析したら10年って言われてたんで。」
- 夫「機嫌が良かったらいい。わがまま言ってますいません。」
- 孫「ばあば、怖い」
- 次女は医療職 (視能訓練士) で、本人に「死ぬのはまだ早いやろ」と言ったが、「久しぶりに孫に会う」と言われたりして「もう死ぬな。」という発言が本人からあったと。

【倫理的問題と対応】

- ・DMコントロールもしていくが、ストレスがたまらいように臨機応変に対応
- ・皮膚症状が少しでも改善するように、週2回シャワー・透析日は清拭・手浴で対応 (洗濯物を増やさないように)
- ・皮膚の為にズレ防止シートを使用。自分ではあまりかかかないように指導し、包帯で保護も
- ・夫が来院したら車椅子に乗れそうなら車椅子に乗り、一緒に散歩でもできるように気分転換になるか
- ・話が好きな人なので、本人の思いを傾聴しながらより添っていく
- ・個室対応に変更するタイミングが悩ましい

デスカンファレンスでの意見

- ・シャワー浴や清拭など清潔ケアの介入ができた。
- ・最期は家族との時間を設けることができた。
- ・明るく気さくに話をしてくれてたが、
看護師へ気を使っていたのではないかと思った。
- ・気兼ねなく気持ちを表現できるような雰囲気を作れたらよかった。
- ・快適に過ごしていただくために、
ベッド上の環境をもう少し清潔にできたのではないか。

